

「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」のために

平成28年度全国学力・学習状況調査のさいたま市の結果より

「平成28年度 全国学力・学習状況調査」（平成28年4月19日実施）のさいたま市の結果について、お知らせします。

さいたま市の目指す子ども像「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」を実現するために、学校・家庭・地域・行政が連携・協力し、子どもたちをはぐくんでいくことが大切です。そのために、さいたま市では、学力・学習状況調査の結果を分析し、子どもたち一人ひとりの確かな学力の向上や望ましい生活習慣の確立に役立ててまいります。

御家庭においてはお子様と日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の仕方について話し合う際に、本リーフレットをお役立てください。

教科に関する調査

平均正答率の状況（単位：%）

小6	国語A	国語B	算数A	算数B
さいたま市（公立）	74.7	60.8	78.3	49.7
全国（公立）	72.9	57.8	77.6	47.2

中3	国語A	国語B	数学A	数学B
さいたま市（公立）	78.9	71.1	65.7	47.8
全国（公立）	75.6	66.5	62.2	44.1

全国学力・学習状況調査の概要

＜調査実施日＞平成28年4月19日（火）
 ＜調査対象＞小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒

＜調査内容＞

- ①教科に関する調査
 （小：国語、算数 中：国語、数学）
 A 主として「知識」に関する問題
 B 主として「活用」に関する問題
 ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

さいたま市は、全ての科目（国語A、B、算数・数学A、B）で、全国の平均正答率を上回りました。



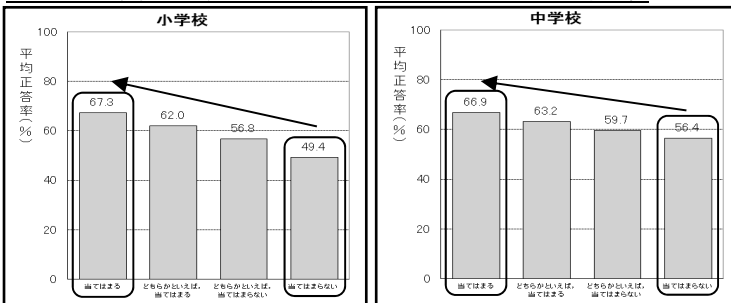
生活習慣等と学力の関係

生活習慣等と学力には関係がみられます。

「規則正しい生活習慣を身に付けること」や、「規範意識や自尊意識を高めること」が大切です。

○棒グラフは、「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」と「教科に関する調査」との結果の関係を表したものです。
 ○グラフ中の「平均正答率」は、小・中学校とも、「教科に関する調査」の全ての科目の平均正答率の平均値を求めたものです。

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。



＜グラフの見方＞

例えば、小学校では、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という質問項目について「当てはまる」と回答している児童の平均正答率は67.3%であることを表しています。また、「当てはまらない」と回答した児童の平均正答率は、49.4%です。

「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」児童生徒ほど、平均正答率が高いことが分かります。



「学びの足あと」を残そう

※「考え」とは、ここでは思考の過程やその結果を表します。

さいたま市の調査結果を分析すると、全国に比べて、無解答率が高いという課題がみられます。この要因として、「分からないから答えを書けない」「間違っているかもしれないと思ったから書かない」など、様々なことが考えられます。

「『学びの足あと』を残す」とは、「子どもたちが、自分の考え※を表現し、それを残すこと」を大切にすることです。この取組は、「子どもたちが、学習を振り返ること」が目的ですが、無解答を減らすことにもつながるものと考えます。

ぜひ、この「『学びの足あと』を残す」取組を御理解いただき、家庭学習等においても下のような声掛けをお願いします。

子どもが自分の考えを表現し、それを残す大切さを実感できるようにするために・・・

御家庭においては、お子様が「自分の考えを表現し、それを残すことを大切にすること」を習慣化できるように、次のような声掛けをお願いします。

- 【例】①自信がなくても、自分の考えたことや答えを書くように声を掛ける。
 →書いたこと自体を「ほめたり」、「認めたり」することで、自分の考えたことや答えを残すようになります。
- ②書いた考えや答えを消さないで、赤ペンなどで書き加えるように声を掛ける。
 →自分の考えや答えを残すことで、自分の間違いに気付いたり、学習を振り返ったりできるようになります。

【ノート等の書き方の工夫】（例）

＜自分の解き方＞
 $3x + 4 = x + 10$
 $3x - x = 10 - 4$
 $2x = 6$
 $x = 3$

＜正しい解き方＞
 $3x - x = 10 - 4$
 $2x = 6$
 $x = 3$

各学校でも、それぞれ

「『学びの足あと』を残す」取組を行います。



生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

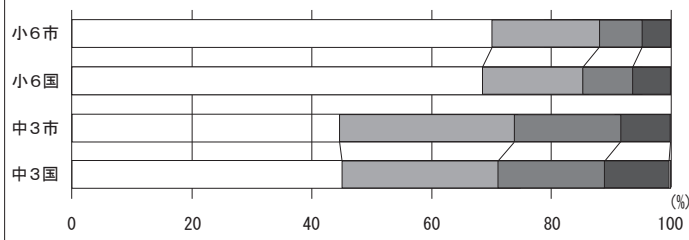
あなたの夢や目標は何ですか？

夢や目標をもち、いろいろなことにチャレンジしましょう。
あなたの夢や目標を書き、家の人と話しましょう。



将来の夢や目標をもっていますか

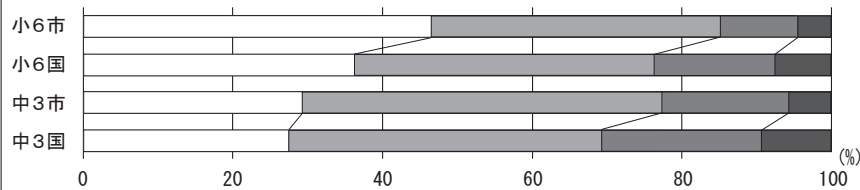
□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



自分の夢や目標をもつことは、そのゴールに向かって努力していこうとする「**学びのエネルギー**」となります。

自分にはよいところがあると思いますか

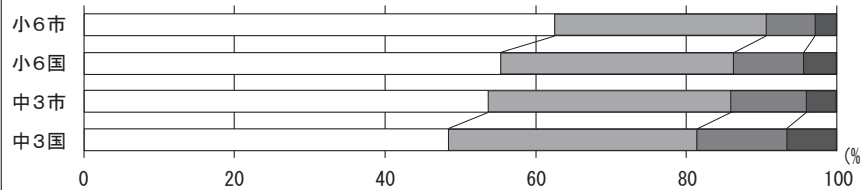
□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



小さな成功体験を積み重ねていき、自分のよいところを認めることは、自分の行動に自信をもち、さらに新しいことに挑戦してみようとする意欲につながります。

学校に行くのは楽しいと思いますか

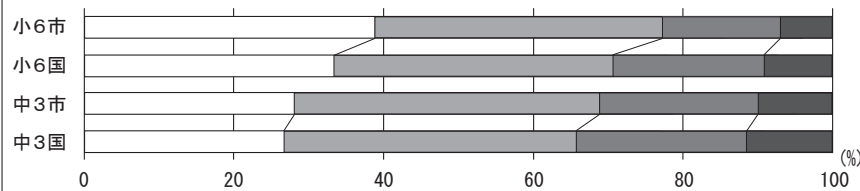
□そう思う ■どちらかといえば、そう思う ■どちらかといえば、そう思わない ■そう思わない



授業や行事など学校生活が充実し、友達との良好な人間関係を築くことは、落ち着いて学習に取り組むことにつながります。

地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



身近に起きている出来事や社会の問題等に関心をもつことは、自分の視野を広げ、新たな学習への興味・関心を高めることにつながります。

「自分にはよいところがあると思いますか」「学校に行くのは楽しいですか」「地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか」の質問に対して、さいたま市の児童生徒は、全国の回答状況と比較して、肯定的な回答をする割合が高いことが分かります。

御家庭では、学校での出来事などを話題にさせていただき、具体的にほめたり、励ましたりすることで、お子様が自分のよいところに気付くことができるようなかかわりを大切にしてください。また、学校以外の身近な出来事やニュースなどもぜひ話題にし、お子様の知的好奇心をはぐくんでください。

さいたま市立教育研究所の Web ページ(<http://www.saitama-city.ed.jp>)には、学力向上に役立つ様々な情報が掲載されています。ぜひ、御活用ください。

●学習状況調査結果：詳細な調査結果を掲載しています。

●学びの向上 クイックリポート (速報)

全国や市独自の学習状況調査に関する情報を動画で配信

●課題克服応援シート

課題を克服したり、活用する力を伸ばしたりするためのワークシートを掲載



編集・発行 さいたま市教育委員会

このリーフレットは、22,000 部作成し、1 部当たりの印刷経費は 3 円です。